

社協 かわじま



夏のボランティア体験プログラム

参加者の皆さま・ボランティアを受入れていただいた皆さま

～ ご参加・ご協力いただきありがとうございました ～

主な
内容

- ・ 決算報告
- ・ 事業報告
- ・ 社協の情報コーナー
- ・ 会員会費、赤い羽根募金、
歳末たすけあい運動募金のお願い
- ・ 歳末たすけあい運動
見舞金贈呈に関する申請案内
- ・ 福祉団体コーナー

2024.10

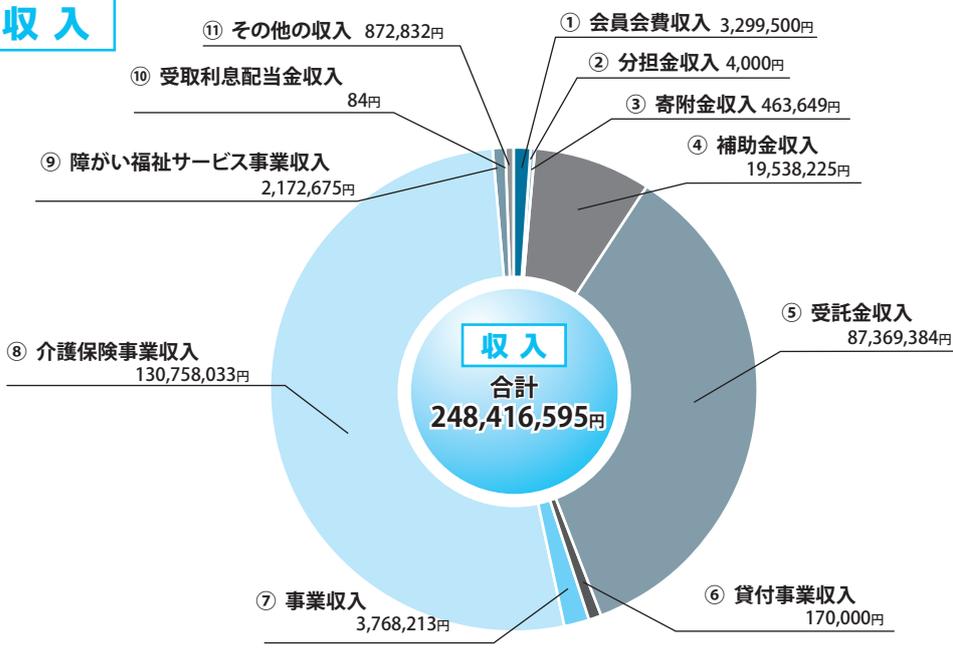
No. 106

令和5年度 事業・決算報告

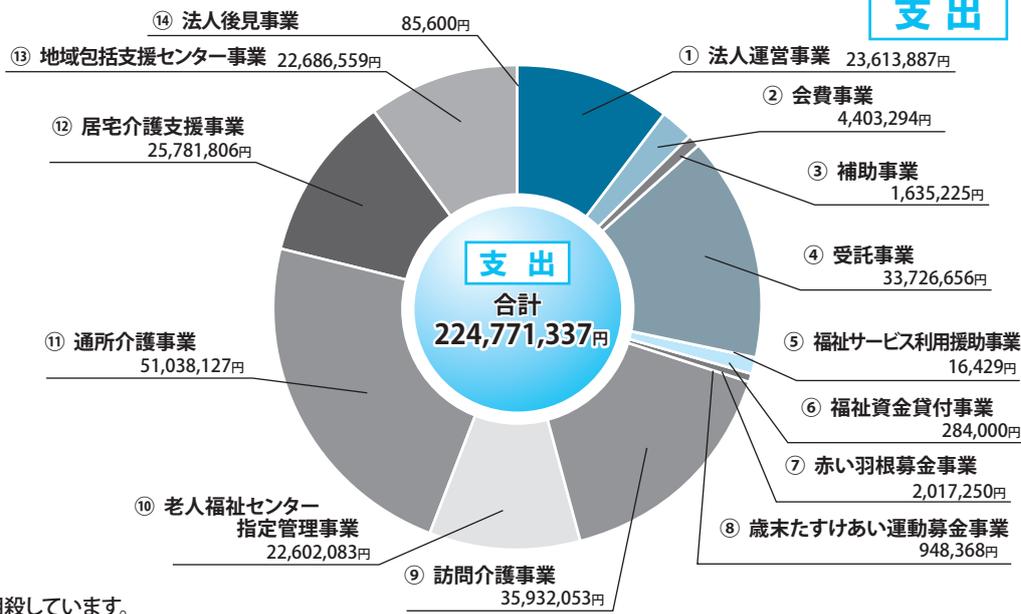
住民の皆さまからのご協力

会員会費額	3,299,500円
赤い羽根共同募金額	2,500,677円
歳末たすけあい募金額	1,007,997円
一般寄附金額	463,649円

収入



支出



※内部取引は相殺しています。

会費事業

会員会費を財源とした生活支援、介護予防サービス等を行いました。

①かわじま安心お助け隊事業

有償ボランティアが、援助の必要な高齢者や障がいがあるかたの通院や買い物等の生活支援を行いました。

・利用会員数 666名

・利用実績 1,280件

②ボランティアセンター事業

ボランティアに関する相談、情報提供、登録、コーディネート、保険加入などの支援を行いました。

・登録団体 11団体377名

・ボランティア活動保険加入者 655名

・夏休みボランティア体験学習 53名

③常設サロン助成事業

住民同士で運営する、地域住民が気軽に集まれる拠点(サロン)の運営を支援しました。

④福祉協力校助成事業

小学校、中学校の児童・生徒を対象に、福祉に関する学習や実践活動を通して、「福祉のこころ」を育てることを目的に、町内小中学校を福祉協力校に指定し推進を図りました。

福祉体験学習として、車いす体験やアイマスク体験を実施しました。

・実施回数 2回

⑤100歳の祝い

100歳のお祝いに社協会長が訪問し、寿状、祝い金の贈呈と記念写真の撮影を行いました。

・対象者数 9名

⑥米寿の祝い

川島町職員の協力により、88歳のかたを訪問し、記念品を贈呈し長寿をお祝いしました。

・対象者数 106名

⑦戦没者遺族支援事業

戦没者遺族に対する支援を実施しました。

・盆中慰問の実施(戦没者遺族へ遺族連合会役員による線香配布) 276世帯

・戦没者遺族による慰霊参拝 19名

⑧地区敬老事業への支援

敬老、交流を目的に、公民館主催の敬老事業へ助成金を交付しました。

・助成件数 6件

⑨福祉関係団体の支援

福祉関係団体の事務局として育成、支援を行いました。

・さわやかクラブ川島連合会

・川島町手をつなぐ育成会

・川島町遺族連合会

・川島町赤十字奉仕団

⑩車いす、シルバーカー、車いす対応自動車の貸し出し

日常生活の中で、移動が困難な心身障がい児(者)及び虚弱高齢者等に、車いす、シルバーカーや車いす対応自動車の貸し出しを行

いました。

・車いす貸出件数 49件

・シルバーカー貸出件数 1件

・自動車貸し出し件数 84件

⑪フード&ライフドライヴ

長引くコロナ禍による休業、失業が広がる中で、日々の食事や日用品の確保に困窮する家庭に対して、食料品や日用品を提供するために町民からの寄付を募りました。

・期間 10月2日〜11月30日

・提供人数 30名

・提供点数 200点

・うち米1,274kg

⑫フード&ライフパントリー

フード&ライフドライヴで提供いただいた食料品・日用品を子育て世帯等に配布しました。

・期間 1月22日〜1月27日

・配布先 36世帯

⑬地域包括ケア実習

地域包括ケアシステムにおける住民支援のありかたと看護師の役割について学習する大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科の学生を受け入れました。

・実施日 6月12日〜7月6日

のうち12日間

・受入人数 24名

補助事業

補助金を財源とした高齢者福祉事業及び戦没者遺族支援事業を行いました。

①100歳の祝い及び米寿の祝い

事業(再掲)

②戦没者遺族支援事業(再掲)

③地区敬老会事業助成事業(再掲)

受託事業

受託金を財源とした高齢者福祉子育て支援事業及びふくし総合相談事業を行いました。

①いきいきサロン事業

高齢者が地域の中で明るくいきいきと暮らしていけるよう、民生委員・児童委員や地域住民によって、ふれあいの場を設定し、仲間づくり、介護予防を進めることを目的にいきいきサロンを実施しました。

・活動実績 5か所、9回

・延べ参加者数 307名

②ハッピー体操

健康づくりや介護予防、また、地域での交流を目的として、65歳以上の方を対象に、ハッピー体操を実施しました。

・活動実績 9か所、415回

・延べ参加者数 7,102名

・サポーター数 61名

③第31期シニア学園

60歳以上のかたに学習の場を提供し、健康で明るく心豊かな社会生活を送れるための教養講座を実施しました。

・受講者数 18名

・開催回数 15回

④ファミリーサポートセンター

「子育てを手伝ってほしい人」と「自分の空いた時間で子育てのお手伝いができる人」が会員となつて、地域ぐるみで行う子育て支援事業を実施しました。

- ・会員数 援助会員142名、提供会員10名、両方会員1名
 - ・利用件数 339件
- (保育園及び学習塾等の送迎、児童預かり等)

⑤生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステム構築の基礎となる高齢者の生活支援サービスの構築や必要な事業の検討を行いました。

- ・地域ささえあい協議体 3回
 - ・情報交換会 2回
 - ・地域ケア会議 12回
 - ・通信・チラシ発行 57回
 - ・みんなの食堂 12回
 - ・集いの場 100回
 - ・弁当・食料配布 11回
- (その他 各種研修会参加、県社協会議参加)

⑥福祉総合相談事業相談実績

福祉の困りごとについて、相談内容に応じた対応、関係機関との連絡や調整等を行いました。

- ・相談件数 90件

福祉サービス利用援助事業
(あんしんサポートねっこ)

判断能力が不十分なかたに対し、安心して生活が送れるように、

生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要なお金の出し入れなどを行いました。

- ・契約件数 15件
- (高齢者7件、障がい者6件、その他2件)

福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者や離職者等の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

- ・社協貸付事業生活資金 8件
- ・県貸付事業 0件

赤い羽根募金事業

赤い羽根共同募金を財源として、地域福祉の推進を目的とした事業を実施しました。

①広報紙の発行(6、9、2月)

社協かわじまを発行し、福祉サービス、活動状況などを周知、広報活動を行いました。

②福祉表彰式の開催

家庭において高齢者や障がい者(児)にまごころを込め、献身的に介護されているかたや、長年、社会福祉事業に功労のあつたかたの表彰を行いました。

- ・実施日 11月3日
- ・場所 川島町民会館ホール

・内容 表彰式典

社会福祉事業功労者表彰 8名

まごころ介護表彰 2名

まごころ介護特別表彰 1名

③単身高齢者給食サービス(毎月第3木曜日)

一人暮らし高齢者を対象に、毎月第3木曜日に赤十字奉仕団による弁当の宅配サービスを実施しました。

・利用者累計 457名

④民生委員と学校の話し合い

児童の健全育成のために、町内各小学校の先生と民生委員・児童委員が各学校で話し合いを通じ、家庭環境等情報交換を行いました。

⑤おやこのついで

民生委員・児童委員協議会協力のもと、ポッチャ・ビンゴ大会を開催しました。

歳末たすけあい運動募金事業

歳末たすけあい募金を財源とし、歳末の時期、支援を必要とする世帯が、明るくお正月を迎えるために贈呈事業を実施しました。

新たな年を迎える時期に、歳末たすけあい運動による町民の皆さまからの募金を、品物に変え、支援を必要とする世帯等へ民生委員・児童委員等を通じて贈呈をしました。

- ・対象世帯 593世帯

介護事業

①訪問介護事業(ホームヘルパー)

利用者の特性を踏まえて、その能力に応じた日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣して入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行いました。

・月平均利用者数 88・6人

②高齢者外出支援事業(福祉有償運送)

要介護及び要支援のかたを対象に、病院、役所等の公共施設、日常生活を行う上で特に必要な場所への送迎サービスを実施しました。

・利用件数 1,048件

③産前産後ヘルパー事業

家事及び育児等の協力が家族等から受けられず、日常生活に支障が生ずる妊娠中のかた、又は満1歳未満の子を養育するかたに対し、生活に必要な家事の支援を行うホームヘルパーを派遣し子育てを行う家庭の支援を行いました。

・利用件数 14件

④通所介護事業(デイサービス)

利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の機能訓練などを行い、利用者の社会孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図る目的で実施しました。

⑤ 月平均延べ利用者数 545.6人 ⑤ 居宅介護支援事業（ケアマネジ メント）

要介護状態等になった場合において、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し、利用者の希望に沿った適切な保健・医療・福祉のサービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供できるような事業を実施しました。

・ 月平均利用者数 159人

老人福祉センター事業

高齢者の介護予防の推進、教養の向上及びレクリエーションの実施など、高齢者福祉増進の拠点として、高齢者が健康で明るい生活が過ごせるよう、施設の維持管理と運営を行いました。

・ 利用カードの発行 84名
・ (60歳以上希望者)
・ 避難訓練の実施(年2回)
・ 延べ利用者数 12,412人

地域包括支援センター事業

介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える相談機関として、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門の職員が、高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のため必要な援助を行

うことを業務とし、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を支える役割を果たす機関として、様々な相談を受付けました。

① 介護予防ケアマネジメント事業

町が把握、選定した特定高齢者についての介護予防ケアプランを作成し、必要な援助を行いました。

・ 対象者数 延べ130名

② 総合相談・支援事業

総合相談対応及び専門的・継続的な相談支援、その実施に当たつて必要となるネットワークとの連携や実態把握を行いました。

・ 件数 262件

③ やすらぎ保健室

老人福祉センターやすらぎの郷で、「やすらぎ保健室」を月1回設置し、保健師が血圧測定や健康相談を通じて、困りごとや心配ごとの相談に応じています。

・ 利用者数 176名

④ 権利擁護事業

成年後見制度の活用促進、老人福祉施設等への措置支援、高齢者虐待や困難事例への対応、消費者被害防止等、高齢者の生活維持を図りました。

・ 身体的虐待 11件、介護放棄 3件、心理的虐待 2件、経済的虐待 1件

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

川島町内にある居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの勉強会や研修会、情報交換会を実施しました。支援困難事例は、地域ケア会議に事例提供し、専門職のアドバイスを受けることができました。ケアマネジャー等への日常的な個別指導や支援を行いました。

要支援者における介護予防サービス計画を作成するとともに、介護予防サービスマネジメントに基づき、介護予防サービスマネジメント等との関係機関との連絡調整を行いました。

⑥ 指定介護予防支援（ケアプラン）作成

要支援者における介護予防サービスマネジメントに基づき、介護予防サービスマネジメント等との関係機関との連絡調整を行いました。

・ ケアプラン作成人数 1,646人

⑦ 若返りサロン

若返りサロン（通所型サービスマネジメント）は、要支援者や特定高齢者のかたを対象に、週1回、3〜6か月間、理学療法士の指導による運動教室を実施しました。

・ 延べ利用者数 473人

⑧ 認知症を支える家族支援事業

奇数月に認知症を支える家族の交流会を実施し、認知症の介護経験のあるかたや現在介護しているかた等の情報交流の場として開催しました。

・ 参加者数 38人

⑨ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、認知症を正しく理解し、認知症になっても地域で安心して暮らしていけることができる地域を目指し

て養成講座を開催しました。中山小学校と伊草小学校の6年生を対象に小学生向けの養成講座を開催しました。

⑩ 開催回数 9回

・ 受講者数 259名

⑪ オレンジカフェ

認知症のかた、その家族、地域のかたが誰でも気軽に立ち寄り、専門職への相談や情報交換ができます。

・ 延べ参加者数 233名

⑫ 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームでは、町内の40歳以上で認知症が疑われるかた、または認知症のかたで医療サービスを受けていないかたや適切な介護サービスに結び付いていないかた等を対象に、医師・看護師・行政と一緒に自宅を訪問し、相談や関係機関との連携、家族支援を行いました。

・ 訪問件数 32件

⑬ こころクラブ

どなたでも気軽に参加でき、介護予防ボランティアを中心に体操をし、転びにくい体作り支援を行いました。

・ 延べ参加者数 2,200名

⑭ 延べ参加者数 2,200名

・ 延べ参加者数 2,200名

令和6年度

会員会費・赤い羽根募金・ 歳末たすけあい運動募金のお願い

当会は、人と人との「支え合い」の強化を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができるよう、「福祉のまち」づくりの仕組みをつくることを推進します。

その支え合いのひとつの方法として、町民の皆さまや福祉団体、町内企業等の皆さまに会員となっただき、皆さまからの会費を川島町民の福祉支援充実のために、赤い羽根募金、歳末たすけあい運動募金とともに活用して参ります。

会費・募金は任意でございますが、皆さまには、本趣旨にご賛同いただき町民同士の支え合い活動を発展させていくため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

会員会費、赤い羽根募金、歳末たすけあい運動募金について

- 会員会費** 社協が地域福祉活動を進めていくための貴重な財源であるとともに、皆さまが、社協と一緒に地域福祉活動に参加していただける方法の一つです。

使いみち ・かわじま安心お助け隊（生活支援）・ボランティアセンターの運営・地区敬老事業
・100歳、米寿の祝い・福祉教育の推進、福祉体験学習の実施など

- ◇一般会員：1世帯 500円/年額（各世帯対象）
◇賛助会員：1人 1,000円/年額（個人対象）
◇特別会員：1口 5,000円/年額（企業等対象）



- 赤い羽根募金** 10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われます。身近な福祉活動、災害地支援等に役立てられます。

使いみち ・車両整備・送迎サービス・車いすの貸出・単身高齢者給食サービス、広報紙の発行
・福祉車両の貸出・おやこのつどい（障がい児・者世帯交流）等

- ◇1世帯：500円（1世帯当たりの目標額）



- 歳末たすけあい運動募金** 誰もが地域で安心して新たな年を迎えることができるよう「歳末たすけあい募金」を募り、福祉活動につなげています。

使いみち ・民生委員・児童委員協力のもと、支援を必要とする世帯へ見舞金、生活用品の贈呈等

- ◇1世帯：200円（1世帯当たりの目標額）

※ 10月1日の区長配送で各区長様に例年同様、各世帯に会費・募金の取りまとめをご依頼させていただきます。

福祉団体コーナー



川島町手をつなぐ育成会

手をつなぐだより No.45

2回目の社協だより内での掲載です。より多くの方に読んでいただきたく、このページを印刷、色々な所で展示や回覧をしています。

育成会は障がいについて発信していく会でもあります。比企地域自立支援協議会が今年度は川島町で開催され、障害者理解促進研修会にて障がい当事者の家族という立場で20分程度のお話をさせていただきます。育成会全体の活動では、グループホームの見学や情報交換会、生涯学習町民ふれあいフェスティバルでのパドル体操出演、川島町中央文化展での展示、生涯学習課主催の手をつなぐみんなのスポーツ教室参加、社協クリスマス会での啓発活動などを予定しています。会員も無理をせず楽しみを見つけながら、我が子の気になる将来に向けて体験や勉強、啓発を続けていきます。（会長 望月）

《民生委員さんとの情報交換会（6月19日）》

役場大会議室にて民生委員さん12名、会員14名との情報交換会を行いました。民生委員さんから、昨年度のスポーツ教室のダンスやおやこのつどいなどとても楽しく行う事ができ、今後も活動を広げていきたいと話してくれました。情報交換会を行った事で、他の地区の民生委員さんとの繋がりが深まり、子ども達の日常の様子などもお話しする事ができて良かったです。（岸田）

《健康福祉課との情報交換会（7月25日）》

障害の程度や年齢、直面する問題も人それぞれ、手帳所持者に限らず状況に応じた相談や情報を得るために、健康福祉に特化した人材（スペシャリスト）をお願いしたいという意見に対して「必要なことだと思っているので考えていきたい」と回答をいただいたこと、とても嬉しかったです。他、町内でも身体、療育、精神手帳の所有者は増えている事、ワクチン接種の詳細、成人になる年に行う手続きなど、たくさんの情報をいただきました。（太田）

《飯島町長とのタウンミーティング（8月22日）》

今年度も町長さん、政策推進課や健康福祉課、社協にも入っていただき開催しました。福祉専門の職員配置、豪雨や台風7号、雷雨等の際の町内の様子や排水、水害に対する町の対策、グループホーム等や障がい者の過ごしやすい場所（古民家や鳥羽井沼など）、コロナワクチン接種と多岐にわたり様々な情報をいただき、意見交換ができました。個人では聞けないことも育成会として団体でお時間をいただけてありがたかったです。子どもたちのために仲間と頑張っていこうと改めて思いました。（佐藤）



《子ども紹介コーナー16》 シリーズで“我が子”の紹介をさせていただきます。

今年34歳になった耕平は3歳児検診で自閉傾向による発達障害の診断を受けました。今でも時々不安定になり髪の毛を抜いたり、皮膚トラブル、神経性大腸炎など出ますが、療育や病院の先生、相談員、作業所のスタッフの支援を受けながら落ち着いて過ごしています。

平日は東松山市の作業所に自転車で通い、バリ取りやチラシ折りなど仲間やスタッフとおしゃべりしながら楽しく仕事をしています。余暇は自分で調べて計画を立て、ヘルパーさんや親と古本屋、映画、イベントへのお出かけなどを楽しんでいます。グループ外出や習い事も再開しました。自分のペースでいろいろな経験をしながら楽しくおだやかに過ごせればと思います。（耕平の母）



会員募集中

お問い合わせ

会長 望月幸枝 049-297-8978
社協担当 小林 049-297-7111

ボランティアセンターコーナー



ハッピー体操サポーター（15期生） 養成講座を開催します

対象者 川島町内在住・在学・在勤者
 募集人数 15名程度
 参加費 無料
 会場 保健センター2階研修室
 町民体育館（開講式・閉講式のみ）
 時間 14時～16時
 講師 都留文科大学 加藤優教授ほか
 申し込み 電話または申し込みフォーム（社協HP掲載）
 電話申込：049-297-7111
 開催予定 令和6年10月22日（火）～ 令和7年1月21日（火）
 期間中の毎週火曜日（全12回）
 締め切り 令和6年10月15日（火）



詳細は社協HPを
ご確認ください

夏のボランティア体験プログラムのご報告

～ご参加・ご協力いただきありがとうございました～

令和6年7月22日（月）から8月30日（金）まで「夏のボランティア体験プログラム」を開催しました。川島町内の福祉施設や団体等の皆さまのお力添えにより、計93名（のべ140名）のボランティアの皆さまにご参加いただきました。

参加者の皆さま、ボランティアを受け入れていただいた皆様、夏ボラにご参加・ご協力いただきありがとうございました。



提出いただいた「体験記録シート」を取りまとめ感想集を作成しました。こちらからご覧いただけます。



ボランティアセンターでは、夏休みの期間に限らず「ボランティアをしたい方」や「ボランティアを募集している施設や団体の皆さま」からのご相談を受付けております。いつでもお気軽にご相談ください。

ボランティア紹介

ここでは、川島町で活躍するボランティアの皆さんをご紹介します。
今回は、長年お助け隊サポーターとしてご活躍いただいた篠原サポーター
にお話を伺いました。



かわじま安心お助け隊サポーター
篠原 忠さん

私は正直、人と話をするのがあまり
得意ではありませんでした。

「自分の健康のために何かやってみよう」
そう思い立ったのが、ボランティアを始めた
キッカケです。

【ボランティアを始めようと思った理由をお聞かせください】

「自分の健康のために」と思い立ったのが、ボランティアを始めたキッカケです。ハッピー体操サポーター（4期生）として、2年間活動しました。
そんな中で、社協の職員さんから「運転ボランティアのサービスを始めるとかやってみませんか」とお声掛けいただき、お助け隊サポーターに転身しました。車の運転は好きなのでやってみても良いかな、と。当時のお助け隊は立ち上げ当初でしたので無名のサービスでした。「なんとなくやってみた」が正直な感想です。「地域貢献したい」とか「人助けのために」とか、そういった格好いい理由ではなくて申し訳ありません（笑）

【お助け隊に対して一言お願いします】

お助け隊の利用者さんは話好きの方が多くて…。私は人と話をするのがあまり得意ではないので大変といえば大変でした（笑）。ですが、利用者さん達と関わるうちに「自分のために」が「人のために」と気持ちの変化があり、いつの間にか10年以上お世話になってしまいました。最初は「70歳になるまで」、それが「75歳まで…」「80歳まで…」と。つつい引退を引き延ばしてしまいました（笑）。あっという間の12年間でした。
私はここでサポーターを引退させていただきますが、お陰様で今も身体は元気です。日中はテニスやバドミントンなどの趣味を謳歌していますので、もしどこかで私を見かけた際にはお声掛けいただけると嬉しいです。

篠原さんには平成24年8月から令和6年7月まで、およそ12年間に渡りお助け隊サポーターとしてご活躍いただきました。長年に渡り、川島町の地域福祉に貢献いただき大変ありがとうございました。

かわじま安心お助け隊サポーター会員を募集しています

対象者：川島町内在住・在学・在勤者

※専門的な資格・経験は必要ありません

内容：①車を利用した援助（通院・買い物同行など）

②生活の援助（電球交換・掃除の手伝い・お話し相手など）

活動時間：月曜日～金曜日の9時00分～17時00分

※ご自身の都合の良い日時で活動いただけます。

謝礼：川島町共通商品券500円／1時間



ボランティアに関するお問合せはこちらまでご連絡ください

川島町社会福祉協議会ボランティアセンター ☎049-297-7111

歳末たすけあい事業

見舞金贈呈に関する申請案内

歳末の時期、町民の皆さまに歳末たすけあい募金のご協力をいただいています。皆さまからいただいた募金の一部を、生活に支援を要する世帯へ贈呈します。

該当する世帯、及び申請方法は以下のとおりです。

●対象世帯…次の①～③を満たす世帯

- ①令和6年10月1日現在で、町内に住民票を有し、6か月以上居住していること
- ②世帯全員の住民税（町県民税）が非課税であること
- ③A、Bのどちらかに該当する世帯

A. ひとり親世帯

- ・ 児童扶養手当受給世帯

B. 障がいのある方と同居している世帯

- ・ 障害者手帳（身体1級、知的^ア・A、精神1級）のいずれかをお持ちの方を含む世帯

※生活保護世帯は対象外となります。

※見舞金の金額は、今年度の募金額と申請件数によって決定されます。（世帯ごと5,000円程度の贈呈となります）

歳末たすけあい運動は生活に支援を要する方が明るくお正月を迎えるために何が出来るかを考え支援する活動です！



●申請方法…贈呈を希望される方は以下の書類をご提出ください（郵送可）

申請者全員

- 歳末たすけあい見舞金申請書 ※社協HPからダウンロード可能です
社会福祉協議会・健康福祉課にて配布もいたします。
配布期間：11月1日（金）まで配布
※令和6年度町民税・県民税の課税状況（15歳以上の世帯員全員分）について、社協から町担当課へ情報を照会する事に同意が必要です。

A. ひとり親世帯

※別途書類の添付は必要ありません（社協から町担当課へ情報を照会する事に同意が必要です）

B. 障がいのある方と同居している世帯

- 該当する障害者手帳（写）

<提出先>社会福祉協議会（保健センター内）

<締め切り>令和6年11月5日（火）まで（必着）

【今後の流れ】



申請者には、11月中旬に申請結果と合わせて「配布日時・配布方法」について改めて通知いたします。

【提出・問い合わせ先】

社会福祉法人川島町社会福祉協議会 電話：049-297-7111
〒350-0131 川島町大字平沼1175（川島町保健センター内）

社協の情報コーナー

ご家庭に不要な食料品や日用品がありましたら是非ご寄贈ください！

フード&ライフドライブ にご協力をお願いいたします！

フード&ライフドライブってなに？ 家庭で余っている食料品・日用品を持ち寄り、生活に困窮している個人や団体等に寄付する活動です。

- 受付期間 令和6年10月1日（火）～11月29日（金）
午前8時30分～午後5時15分（※土・日、祝日は除く）
- 場 所 川島町社会福祉協議会（川島町大字平沼1175 川島町保健センター内）



●お問い合わせ 049-297-7111

オレンジカフェ伊草 開催日程変更について

オレンジカフェ伊草では、地域の方と一緒に認知症サポーター、包括職員が参加・交流を行っています。皆さんでお茶やおしゃべりをしながら一緒に楽しい時間を過ごしましょう。（会場：伊草公民館）

令和6年9月まで 毎月 第4土曜日 午後1時30分～2時30分

令和6年
10月から

日時：毎月 第4火曜日 午後1時30分～3時
開催日時：10月22日（火）・11月26日（火）・12月24日（火）
・1月28日（火）・2月25日（火）・3月25日（火）

大東文化大学看護学科地域包括ケア実習

6月中旬から7月上旬にかけて、大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科から地域包括ケア実習の学生22名を受け入れました。実習では、看護師が地域包括ケアシステムの中で果たす役割について学びました。



掲 示 板 フレンドリー

赤い羽根共同募金



今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から実施されます。地域福祉の推進を図ることを目的に全国一斉に行われます。市町村でいただいた募金はその地域で行う各種福祉活動、ボランティアの育成、民間福祉施設整備等や国内で発生した大規模災害時の被災者支援に役立てられます。



©中央共同募金会



写真は令和5年の街頭募金

NPO法人フードバンクよしみ・かわじまよりお知らせ

ご家庭に眠っている食品・お米を大募集

寄附いただいた食品は、生活に困っている方に責任を持って届けます。

- 【日 時】11月8日(金) コミュニティセンター
午前11時～午後1時
11月9日(土) フラットピア川島
午後2時～午後4時
【対象品】未開封、常温保存可能、消費期限が2か月以上先の食品

暮らし応援 食品無料配布

コロナ禍で影響を受けた日々の生活が大変な方に配布します。



- 【日 時】11月16日(土) 午後2時～4時
【場 所】コミュニティセンター
【問合せ】NPO法人フードバンクよしみ・かわじま
☎ 090-8947-7986 (佐藤代表の携帯電話)
～ 詳しくはホームページをご覧ください～

100歳の祝い

100歳を迎えられた方を、飯島会長がお祝いと寿状の贈呈に訪問しました。



(大正13年8月16日生)
谷澤サハ様

寄附のお礼

たいへんありがとうございました。大切にさせていただきます。

- ・白井 美波様 (紙おむつ3箱)
- ・川島町連P六三会様 (3,365円)
- ・比企地域労働者福祉協議会様 (10,000円)
- ・小久保 良行様 (玄米30kg)
- ・株式会社 トータルリユース様 (紙おむつ6箱)

社協かわじまは、共同募金の配分を受けて発行されています。

お問い合わせ ▶ 社会福祉法人 川島町社会福祉協議会 (川島町老人福祉センター内)

〒350-0146 埼玉県比企郡川島町大字曲師402番地1
TEL.049-299-6630 FAX.049-299-6730 E-MAIL: shomu@kawajima-shakyo.or.jp
午前8時30分から午後5時15分 (祝日を除く、月～金曜日)